

平成 29 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	インテリア基礎	担当教員	櫻木耕史、非常勤		
学年学科	2年 建築学科	後期	必修	1 単位	
学習・教育目標	(D-2 情報・論理系) 100%				
<b>授業の目標と期待される効果：</b> 生活に身近なインテリアを通して、三次元空間を表現することを学ぶ。具体的には以下の項目を目標とする。 ① 模型、三次元図法を用いて、インテリアに関する三次元空間などを表現する ② 空間を豊かにするインテリアを創造的に組み立てる ③ プレゼンテーション能力を養う		<b>成績評価の方法：</b> 大きく分類して4つの課題(各100点満点)の合計400点の得点率(%)によって成績評価を行なう。 また課題提出は時間厳守とし、期限に遅れた場合は減点とする。 授業の進行を妨げる行為・消極的な行為に対しては、得点率の1~10%を減じた値で評価する。 具体的には、出席簿に記載した注意の回数と減点(%)を対応させる <b>達成度評価の基準：</b> 下記(1)~(3)について、6割以上達成しているかを評価の基準とする これらの成績評価の重みは、(1):(2):(3)=4:3:3である  (1) 学習した表現技術について理解し、活用できる (2) テーマに対応した創造的なデザインができる (3) 創意工夫を持って丁寧に作業し、美しく分かりやすい作品を作成することができる			
<b>授業の進め方とアドバイス：</b> 三次元の表現技術を習得するためのトレーニングとして、常に建築・空間・家具等を意識して体験・観察することが重要である また、積極的に建築・デザインの雑誌など目を通して感性養うと同時に、表現技術の参考とすること					
<b>教科書および参考書：</b> 教科書： スタイル別にわかるインテリアの基本 (エクスマレッジ) 参考書： 各種建築雑誌 (新建築・建築文化・GA など)					
<b>授業の概要と予定：前期</b>					<b>ALのレベル</b>
第 1 回：課題の趣旨の説明、造形の基礎、道具の使い方					C
第 2 回：紙によるモデリング 1					C
第 3 回：紙によるモデリング 2					C
第 4 回：建築模型の基礎					C
第 5 回：スチレンボードによるモデリング 1					C
第 6 回：スチレンボードによるモデリング 2					C
第 7 回：スチレンボードによるモデリング 3					C
第 8 回：中間のまとめ (作品の講評)					
第 9 回：色彩・カラーコーディネートに関する基礎知識					C
第10回：カラーコーディネート課題 1					C
第11回：カラーコーディネート課題 2					C
第12回：プレゼンテーションボードの作り方					C
第13回：プレゼンテーションボードの制作 1					C
第14回：プレゼンテーションボードの制作 2					C
第15回：プレゼンテーションボードの講評会					

評価（ルーブリック）

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な到達 レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
①	学習した表現技術について理解し、活用できる（8割以上）。	学習した表現技術について理解し、ほぼ(6割以上)活用できる。	学習した表現技術について理解し、活用できない。
②	テーマに対応した創造的なデザインを、作成できる（8割以上）。	テーマに対応した創造的なデザインを、ほぼ(6割以上)作成できる。	テーマに対応した創造的なデザインを、作成できない。
③	創意工夫を持って丁寧に作業し、美しく分かりやすい作品を作成することができる（8割以上）。	創意工夫を持って丁寧に作業し、美しく分かりやすい作品をほぼ(6割以上)作成することができる。	創意工夫を持って丁寧に作業し、美しく分かりやすい作品を作成することができない。